



仕え合う学びのコミュニティ

Community of Learning, Serving Each Other

14カ国31名の本科生と研究科生が卒業（昨年12月）

学院において「仕え合うこと」「奉仕すること」はどのように学ばれ、実践されているのか。2022年度の歩みを振り返りつつ、様々な学院のメンバーの姿を追いました。

2022年度
研修報告

日々の実践からサーバントリーダー
シップを深める
大柳 由紀子（副校長・教務主任）

2022年度も神様の豊かな恵みとお導きのうちに、多くの人々に支えられながら研修を無事終え、14カ国31名の本科生ならびに1名の研究科生が無事に卒業を迎えることができました。

コロナ感染症が世界中に広がるなか、20年度は19名の入学予定者が来日を断念し、21年度は海外からの渡航が一切できなくなりました。それでも研修をあきらめなかった20年度、21年度の入学予定者、及び22年度の合格者のうち、研修参加が可能な者が今年度の学生となりました。とはいえ4月の研修開始当初は本科生わずか6名と日本人研究科生3名のみ、不安なままの出発でした。最初の海外からの到着は4月20日のインドネシア人研究科生、21日のグアテマラ人本科生2名でした。その後は次々に来日をはたし、6月8日までは予定していたほぼ全員がアジア学院へとやってきました。研修参加を待ち続けた彼らの学習意欲は非常に高く、学びと成長を続けて卒業の日まで全力疾走してくれました。

今年の最大の特徴となったのは、一斉に研修を開始できなかったことそのものでした。いつまた国境が閉まるかわからないという不安の中、ビザが取れ次第1人、2人と五月雨式に来日となったことから、受け入れる学院側は常に入学時のオリエンテーションを行っているような状態が続きました。補講も何度も行われました。しかし同時に、「先に研修を始めている学生が遅れて来た学生をフォローする」という助け合いの文化も醸成され、互いの関係性がとても良い年だったと感じます。思いやり、励ましあい、学びあう姿勢は、学院の研修の三つの柱のひとつ「学びのコミュニティ」の完成形であったのではないかと思っています。

もちろん簡単なことばかりではなく、意見や考えが合わずにぶつかることもありました。最初のうちは英語がわからずに途方に暮れる学生もいました。自分が学ぶべきことを見失いそうになった姿もありました。文化の違いやスケジュールの大変さ

（次ページへ続く）



- 1) 先に来た学生が後に来た学生に要領を伝える(6月)
- 2) 夏の自主研究で助け合う学生たち(8月)
- 3) 西日本研修旅行で広島を訪問(11月)
- 4) 卒業式で喜び讃えあう(12月)

(前ページからの続き)

に落ち込むこともありました。研修を止めて帰国したいという気持ちを聞いたことも一度ならずあります。母国の治安状況の悪化や家族の健康状況の心配事も起きました。地元で災害が起きた学生もいます。それでも学生たちはボランティアや職員、研究科生の支えも受けつつ、何よりも互いが互いのために祈りあいながら研修を完遂したのです。

アジア学院は農村指導者を養成する学校です。学生たちは農村での働きに必要な知識と技術をもとめて研修への参加を決意します。その思いにこたえるべく、アジア学院では研修が組まれていきます。授業はリーダーシップの技術や姿勢、持続可能な農業の知識や技術、環境問題、平和構築など多岐にわたります。座学で学んだことは、日々の生活で実践を求められます。畑や家畜、キッチンでの朝夕の作業時は、学生たちが交代でリーダーを務めます。収穫感謝の日のイベントも研修旅行も学生がリーダーとなります。地元コミュニティでのリーダー経験のあるクラスメートたちをリードする難しさ、しかも自分の言葉ではない英語を用いてのコミュニケーション、ファシリテーションです。職員のことさえもリードしていくことが求められます。そういった

キーワード解説

サーバント・リーダーシップ

「リーダーはまず相手に奉仕し、その後相手を導くものである」という考えのもとに生まれた支援型リーダーシップ。イエス・キリストを模範にしており、アジア学院の研修の三本柱のひとつとなっている。



《参考図書》
サーバント・リーダーシップ
(ロバート・K・グリーンリーフ)

日々の実践を通して、学生たち一人一人は「サーバントリーダーとは何か」について考えを深め、自己を振り返り、自信を身に着けながら成長していきました。それは授業だけ、知識だけでは身に着けることのできない学びであったと思います。

卒業していった彼らがそれぞれのビジョンに向かって働き続けることを願います。なぜならば、彼らのビジョンは、自らのためのものではなく、人々のために働き続けることだからです。自分たちがその成果を得るのではなく、人々の幸せな未来の実現を願う彼らの成長に、少しでもアジア学院が関わることが私たちの誇りです。

Training Assistant

卒業生がアジア学院に戻り、1年間職員の補助をしながら自分の専門分野について研究を行う「研究科生(トレーニングアシスタント)」。
3月まで研修を続けるビムさんをご紹介します。

2015年度の学生だったビムさんは3月末にアジア学院にやってきたのだが、その後すぐに故郷のネパールが大地震に見舞われた。4月25日のことだった。死傷者数は2万人を超え、被災総額は50億ドルとも伝えられている。すぐさまネパールへ戻ったビムさんだが、目を疑うほどの惨状だった。ひとまず家族とコミュニティの安全を確かめた後、再びアジア学院に戻ったビムさんだったが、正直なところ「家族、友人そしてコミュニティのことが気になって仕方がなかった」と打ち明けてくれた。しかし、「こんな状況でも自分を日本へ送り出してくれた皆に感謝し、アジア学院でとことん頑張ろうと決意した」とも語ってくれた。

アジア学院では有機農業の手法を教えてくれると聞いて来日したビムさんだった。「ネパールの貧しい農村には有効な農業技術が何もない。化学肥料を買う資金もない。しかし研修が始まってみるとアジア学院では有機農業技術以上に『サーバントリーダーシップ』について学びを深める機会が多くあった」と言う。仕える指導者になるためには…と思いを巡らせる日々が続いた。

いつも笑顔で言葉を選びながらゆっくりと話すビムさん。その語り口からは人の良さがにじみ出ている。しかし厚い信仰心を持つビムさんは、とことんまで周りに奉仕することを至上の喜びとしている。ネパールでは全国開発機構という組織で牧師として共同体生活管理に携わっており、ネパールにある25の教会を週ごとに巡回する。ネパールの農村は山岳地帯にあることが多く、ビムさんが受け持つ教会も例外ではない。車やバイクでは移動できない険しい道ばかりなのだ。「歩いても6時間ぐらいだよ」と事も無げにさりと言っただけのビムさん。「待っていてくれる人たちがいるんだ。そのことを思えばなんでもない」



Nepal
ネパール

2015年度卒業生、2022年度研究科生

Bhim Bahadur Khaling Rai

Bhim

ビム・バハドゥール・カリン・ライ

National Development Organization / Pastor, Teacher, Community Life Manager
全国開発機構／教師、牧師、共同生活管理者

研究科生として卒業を間近に控えているビムさん。本国に帰って「サーバントリーダーシップ」、地域社会に貢献する仕える指導者として歩き続けることだろう。

(文：櫻井 将伸)



アジア学院オイコスチャペルの掛け軸。弟子の足を洗うイエスの姿(ヨハネによる福音書13章)はサーバントリーダーの象徴。



座談会

with 海外ボランティア

VOICE

アジア学院
の住民たち

自分の自由時間でも

誰かが働いていたら...

2022年度は学生だけでなく、海外ボランティアも2年ぶりに来日できました。いつも前向きにアジア学院コミュニティに奉仕してくれている3人のドイツ人ボランティアに、ボランティア生活について聞いてみました。



ヘニング・ナルバッハ

- ① 国際関係、野菜作物
- ② Social Peace Service Kassel, e.V. (SFD)

① 所属部署 ② 派遣元

ヘニングさん(以下エ) 国際的なコミュニティと持続可能性に関心があったから、ここが自分のいるべき場所だと思って!お互いの人生を語り合ったり、一緒に料理したり、毎日がすごく楽しい。

「アジア学院に来てみてどう感じた?」
ヘニングさん(以下エ) 自由度の高さに驚いた。時間割は固定だけど、どんな作業も自分の責任でやり方を決めることができるのがいいね。
マリーさん(以下マ) 兄が数年前にここでボランティアしていたから色々な話を聞いて期待していたけど、実際に来てみてすごく幸せ。まず、毎日決まった時間割があることがありがたい。コロナでしばらく学校がオンラインだったしアルバイトも不定期だったから、規則正しい生活が嬉しい。

幸せは
分かち合いたい

「世界中の農村リーダーと一緒に暮らして、何か新しい学びはあった?」
ヘードイツは個人主義的だから隣人のことはよく知らない。でも彼らにとって村全体で集まって何かをするのは普通のこと。共に生きることがどういうことをよく知っている。特定の友達とだけじゃなくて、コミュニティ全体として日々を一緒に過ごす。時々、自分もパティシパント(学生)の一人みたいな気分になる。
「同わかる!」
ヘーただ手伝うだけのボランティアじゃなくて、僕らも全部の活動に参加しているから「パティシパント(参加者)」みたいなものだよね。
マ 彼らの国の歴史や経験、暮らしについて学ぶのが楽しい。農業や料理の仕方、それに考え方の違いも。それによって自分の人生にも感謝できるようになった。
エ 私の生きてきた環境はリベラルで、ジェンダーの規範や役割について闘ってきた。でも彼らの中にはジェンダーに関して伝統的な考え方が強い人もいる。様々な背景を持つ



マリー・ディゼレー・ケスレア

- ① FEAST(給食)、卒業生アウトリーチ
- ② Social Peace Service Kassel, e.V. (SFD)



エミ・アンドレア・ハーナー

- ① 学生募集
- ② Evangelical Mission in Solidarity (EMS)

無償で働くなんて
損だと言っ人もいるけど

た人々と暮らすことで、意見が違っても一つのコミュニティ、家族として愛し合って共に生きていけるんだって学んだ。

へ それぞれのコミュニティでの経験に基づいて考え方が作られているって理解することは大事だね。

ーみんなはいつも積極的にイベントを企画したり、人を思いやって行動したりしているよね。私の残業中にみんなでお茶を持ってきてくれたこともあった。その動機は何だろう？

へ いや、僕らの自由時間に誰かが働いていたら何かするのは当然だよ。僕の動機はあなたの生命維持だよ。

(同笑) それは他の人に対しても同じで、自然なこと。

エ アジア学院から沢山のものをもらっているから、私たちも何か与えたいって自然に思う。

マ 幸せは分かち合いたいしね。

エ それに人は皆、愛と感謝を必要としているから。

ーアジア学院での経験を通して、「ボランティア」について思うことは。

エ ボランティアをする団体に善い影響を与えたいと思うことは大事だけれど、大きな変化をもたらすことはできない。それならどうして私たちはボランティアをするのか。それは手伝うためだけじゃなくて自分自身の成長のためでもある。無償で働くなんて損だと考える人も沢山いるけれど、ボランティアを通して自分自身も得られるものがあることを知ってほしい。

へ 保護された状態から外に出ることは大切。学生時代は親や先生に守られていて、社会で生きていく痛みを知らない。こういう社会奉仕は誰もがやるべき貴重な経験だと思う。

マ 自分が将来何をやっていくのかについても新しい視点が得られる。私は農業にとりわけ興味があったわけじゃないけど、自分で育てたものを食べる生活はすごく素敵。こうやって自分の人生が豊かになっていく。

ー気張ることなく、自然な気持ちでコミュニティを盛り上げてくれるみんなに支えられています。いつも本当にありがとうございます！

(聞き手・江村悠子)

Open Learning Program

“4年ぶりの” セント・オラフ大学プログラム

アメリカ、ミネソタ州にあるセント・オラフ大学の「日本における環境の持続可能性」プログラムとして、冬期に数週間の研修受け入れを始めたのは2015年1月のことでした。以来、計4度にわたって実施されましたがコロナ禍によっていったん中止、今年は実に4年ぶりの再開です。

今回は学生30名と教職員3名が1月16～28日の2週間アジア学院に滞在し、有機農業や環境問題（原発と放射能問題など）、持続可能なコミュニティの未来について学びを深めました。大学生たちは農作業や食事の支度に参加し、見学やレクチャーを受け、あるいはディスカッションをしながら理解を深めていきました。彼らの真摯な学びの姿勢や若者らしい元気な姿に、私たちもいい刺激を受けました。

(大柳由紀子)



ご支援に感謝いたします

2022年11月1日～12月31日（敬称略・順不同）

寄付金がアジア学院に入金された日に基づき掲載しております。入金日は、口座振替の場合はご決済の1ヶ月後、クレジットカードの場合は2ヶ月後です。

サポーター寄付 一般寄付 寄付者御芳名

【北海道】井澤敏郎 ウィットマーロバート・圭子 後藤正敏・すざん 浜島和子 三橋修 村本恵子 (キ) 札幌北一条教会
 【青森県】木村幸子 【岩手県】浅利友重・志津子
 【宮城県】今野裕美子 SchmidtKenneth 高橋千沙子 (教) 宮城中部教会婦人会 【秋田県】丹波望
 【山形県】小野寺喜作 志藤正一 【福島県】佐川真理子 杉原義雄 長峯久夫 中村基行 松谷健司 【茨城県】金谷喜一郎 近藤由巳 塚田洋子 伏木正進 渡部敬明 IKE 設計開発事務所 (教) 茨城地区女性部 (キ) 古河伝道所土浦友の会 (教) 日立教会 (公) 水戸聖ステパノ教会 聖マリア婦人会 【栃木県】赤澤美恵子 AppauBernardTimothy 阿部真希子 荒川治 飯島恵子 飯塚仁美 池田桂子 植竹伸一 江連勝明 大谷雅代 大柳由紀子 柏谷重明 片桐洋史 金子榮子 川上聖子 川添信義 吉川宗芳 木村裕子 郡いুক子 後藤正昭 小中一成 小林克良 駒庭千秋 小山博子 近藤由実 早乙女順子 坂入貴子 佐藤範明 佐原市郎 沢谷千亜紀 杉田恭一・文子 鈴木兼一 高嶋幸雄・久子 滝沢昌弘 武石晃正 竹原亜生・典子 館脇義人 田中淳子 中澤堅次 長瀬美香 丹羽芳雄 野田光子 橋本穂子 花塚洋史 林真智子 原田三恵子 檜山和子 福島永 藤田カツノ 古川勢子 増山律子 McCurley里美 三澤京子 三橋恵子 矢嶋美華 八巻正治 和田 献一・静枝 (教) 足利東教会 西那須野幼稚園 家の教会しおん (教) 宇都宮教会女性会の会 宇都宮友の会 (キ) 宇都宮松原教会学校 小山友の会 (公) 北関東東教会婦人会 (学) さつき幼稚園 (カ) 厳律シトー会 那須の聖母修道院 (カ) 聖血礼拝修道会那須修道院 (キ) 栃木教会 (教) 栃木地区婦人会 那須友の会 那須ワイズメンズクラブ (教) 西那須野教会 (教) 西那須野教会奨学金 ベンション・シャローム (教) 益子教会 Minngos (学) 矢板学園 やいたこども園 (教) 矢板教会 (教) 四條町教会 立正佼成那須教会
 【群馬県】植原映子 亀田瑋子 佐藤たへ子 須藤まさ子 奈賀悟 共愛学園前橋国際大学 短期大学部 前橋友の会 マリアの宣教者フランシスコ修道会 前橋修道院
 【埼玉県】池内清子 茨木泰隆・公子 金刺裕美・泰雄 澤澤幸雄 河島清 北野啓子 小林和夫・加名子 島村敏江 清水美江子 武真人 千村雅信 戸井紗耶香 細川敦子 眞壁日史郎・房子 三浦幸雄 吉崎玲子 (教) 安行教会 浦和友の会 (公) 川越基督教会 (教) 越谷教会 (教) 埼玉大通り教会 (教) 埼玉地区婦人会 草加友の会 (キ) 南浦和教会 【千葉県】安東優 猪狩友子・多佳子 石崎利夫 伊藤金子 金森はるみ 金子聡子 北尾隆昭 中鉦錫 竿代光信 佐久間健 佐藤伊一 佐藤千支子 関治造 藤子 関偉子 多田万里子 張元文 廣田暁信 伏見陽子 藤原敬治 古屋朝則 矢口敏和・愛子 谷澤悠人 安みぎわ 山崎尚子 山本栄子 市川友の会 公共係 (教) 柏教会 千葉友の会 松戸友の会 【東京都】阿部明子 新井伶子 石田満 大塚靖子 犬丸敬子 岩切 梅澤あゆみ OkumaGail 大塚綾 大野綾子 大橋祐治 大森明彦 尾澤うめ子 小見寿 鹿島照代 片岡大造・仁枝 鎌仲聖羅 神谷幸男 柄澤真理子 川口雄二 木村嗣子 久世陽子 黒田俊介 小泉裕子 小杉直美 小林元子 近藤真子 斎藤潤 佐藤弘徳・百合子 志田悦子 小豆真人・優子 白井均 鈴木佳子 鈴木節子 鈴木隆・美智子 須田毅・松子 高瀬まゆみ 高田幸一 高野美恵子 高橋馨 武田正一 竹野裕子 建元喜寿 田中維武 田中淑子 円谷恵 長塚紀子 永沼真理子 永山スミ子 並木浩一 賀川治樹 丹羽証能 登尚子 野村紘子 野村正宣 馬場元毅 林千根 林崎光子 原かおり 原靖二郎 東谷和代 久山道子 日高好男・啓子 平岡昭子 深谷春男 福田一成 古谷恵美子 本田典子 本多峰子 真下健弥・源子・弥生 松田浩道 丸山勇 丸山正文 三崎晃太郎 三井田純子 村松武司 森哲也 森川恵子 森村純子 矢野正貴 矢吹正道 山縣史子 山田寛治・美貴子 山田正 山根正彦・弘子 ガードナーリチャード 渡辺多恵子 (学) 青山学院女子短期大学同窓会 ウェスト東京ユニオンチャータ (教) 志村栄光協会 婦人会 (公) 大森聖アグネス教会 (カ) お告げのフランシスコ姉妹会 国立聖書研究会 恵泉女学園中学・高等学校宗教部 (教) 小石川明星教会 (学) 香園小学校 校友会 会長 保坂久代 (公) 小金井聖公会 (学) 国際基督教大学高等学校 (教) 国分寺教会 (公) 聖アンデレ教会 (カ) 聖コロバン会 (公) 聖パウロ教会 (カ) 聖霊奉侍布教小金井聖霊修道院 (教) 全国教会婦人会連合世界教会運動委員会 (公) 全国友の会 復興財団 全国友の会 中央部 全国友の会 南関東部 (教) 洗足教会教会学校 (教) 代田教会 多摩友の会 鶴川シオン幼稚園 (教) 田園調布教会シオン会 (教) 東京教区北支区婦人会 (教) 東京教区 西南支区婦人会 (教) 東京教区南支区婦人委員会 (公) 東京諸聖徒教会 (公) 東京聖十字教会 (公) 東京聖テモテ教会 東京第一友の会 東京第二友の会 (学) 東洋英和 虹の会 (株) トラスト・ソフトウェア・システム (教) 中目黒教会 (教) 永山教会 (キ) 西経堂伝道所 日本キリスト教協議会 (学) 日本聾話学校 (公) 八王子復活教会 (教) 原町田教会 (教) 東久留米教会婦人会 (教) ひばりが丘教会 (教) 碑文谷教会 (教) 百人町教会 (特活) フェアトレード・ラベル・ジャパン 普連土学園中学校・高等学校宗教委員会 (福) 保谷教会 (教) 三崎町教会みさき基金 (教) 水元教会 (学) 明治学院高等学校 (教) 目白教会 婦人会 (教) 目白教会 (教) 代々木教会付属シオン幼稚園 (宗) 立正佼成会一食平和基金 (カ) 煉獄援助修道会
 【神奈川県】佐々木妙子 浅野順一 安積れい 天野潤 荒井明子 石田伊志子 石原章子 今田多恵 若澤裕基 牛山 梅澤昌子 江頭真彦 大井花子 大村祥子 尾崎久美 尾崎正夫 加山久夫 川上静子 川上豊子 川辺美寿子 桑原安子 駒形朋子 高村祥子 進宏一

新藤雅敏 新村道子 鷺見八重子 関根ゆかり 相馬恵嗣 高田英明 東方敬信 中本尚孝 鍋嶋那津子 西村由子 堀川浩邦・恵子 本川鏡子・南海子 本田忠行 松木強・優子 望月義郎 森田吉世江 山口淑子 横野千晶 (教) 生田教会 (教) 伊勢原教会 バザー委員会 (パ同) 霞ヶ丘教会 (教) 片瀬教会 鎌倉友の会 公共係 (教) 相模原教会 桜ヶ丘幼稚園 (パ同) 捜真バプテスト教会女性会 (キ) 茅ヶ崎東教会日曜学校 (教) 辻堂教会 (キ) 鶴見教会 東京第四友の会 (学) フェリス女学院中学校・高等学校 (教) 藤沢教会 横浜友の会 (カ) レンプトリスチン修道院 【新潟県】荒井真理 大西洋司 海津武尚 萩原正次 (教) 新潟地区教会婦人会連合 (教) 東中通教会婦人会 【富山県】酒井信治 【福井県】福井友の会 【山梨県】大久保信 田中耕太郎 寺島昭二 峡南幼稚園 【長野県】青木栄作 石島美枝子 柴田光昭 朴大信 吉田超 (キ) 上田教会 (岐阜県) 谷口明 (キ) 岐阜教会
 【静岡県】安岡英行 坂本直子 武井陽一 古橋克己 松村芳男 山下清二 吉田幸子 吉沼紀美代 (キ) 磐田西教会 (教) 遠州栄光教会 深荻教会学校 (学) 聖隷クリストファー中・高等学校 【愛知県】青木栄一 阿部奈津 伊藤幸慶 塚田昇 名古路彩月 深谷ひろみ (教) 中教会 名古屋ユニオンチャータ 【三重県】坪井涼子 【滋賀県】太田宜子 岡田妙大津友の会 【京都府】上田祐未 大谷隆彦 櫻井鋭子 細井順 前川裕 メンセンディーク マーサ (教) 京都上賀茂教会 (公) 聖アグネス教会国際会衆 【大阪府】相原正温 大川四郎 大本和子 金石文興 川俣茂 日下弘子 小西裕美子 陳野友洋 田中義信 筒井百合子 林君子 藤井元子 山下紘正 (公) 石橋聖マリス教会 大阪友の会 (教) 希望ヶ丘教会 (教) 豊中教会 (教) 浪花教会婦人会 【兵庫県】加輪上敏彦 黒田喜久子 小宮純子 島田恒 関口順 谷佐代子 平尾亨三・孝子 藤井道雄 森川正美 山本俊正・ClaudiaGenung (公) 芦屋聖マルコ教会 (カ) カルメル会修道院 (教) 神戸イエス団教会 (教) 神戸栄光教会 永寿会 神戸ユニオンチャータ (カ) 善きサマリア人修道院 【奈良県】池淵康彦 (教) 大和キリスト教会 支援委員会 【和歌山県】田尻忠邦・須賀子 【鳥取県】 (学) 良善幼稚園
 【山口県】片山由美子 (カ) キリスト・イエスの宣教会防府修道院 【高知県】田中茂太郎 【福岡県】荒川伊統・淑 中島菜々子 福田輝美 松隈桂子 北九州友の会 【佐賀県】坂本元嗣 【長崎県】山上嘉孝・郁子 (教) 長崎銀屋町教会 【熊本県】宮崎房子 山根誠之 【大分県】大分友の会 【宮崎県】 (カ) レンプトリスチン修道院
 【鹿児島県】植松節子 大谷ともよ 田淵亮 阿久根めぐみこども園
 【沖縄県】小笠原春野 宮平洋恵 (公) 沖縄教区宮古聖ヤコブ教会
 【海外】夏目芳彦 UNITED METHODIST COMMITTEE カナダ合同教会

寄付金	11月	6,826,962円
実績状況	12月	9,394,698円
	合計	16,221,660円

寄付金領収書について
 口座振替・クレジットカードでご寄付頂いた場合、所得税法により領収書の発行及び領収日は、アジア学院に入金された日とさせていただきます。

書き損じハガキ 寄付者御芳名

【北海道】井澤敏郎・美恵子 【青森県】 (カ) 本町教会
 【岩手県】岡田幸助 【福島県】高藤仁一 【栃木県】宇賀神浩人 金子榮子 釜井加代子 黒崎めぐみ 駒庭千秋 早乙女順子 佐藤範明 塩野玄機 高村寿子 中澤堅次 植山和子 桑枝 de マルシェ 臥龍会 ノイ・フランクアトリエ那須 ベンション・シャローム
 【埼玉県】池内朗 井上育枝 清水美江子 細川敦子
 【東京都】井出誠彌 小見寿 北村節子 高瀬まゆみ 中岡真知子 中田久乃 平岡昭子 牧南三井田純子 山下直子 山田朝彦 (公) 三光教会 (教) 中目黒教会 (教) ひばりが丘教会
 【神奈川県】大社淑子 小林悦己 島村祥子 玉井ひろみ 鍋嶋那津子 平沼隆志 山田早苗 (特活) WE21 ジャパンこうほく 【新潟県】 (教) 長岡教会鳩の会 【福井県】福井友の会
 【岐阜県】佐藤亜弥美 【三重県】加藤弘子 【滋賀県】井田涼子 【大阪府】金石文興 小西裕美子 【奈良県】池淵康彦

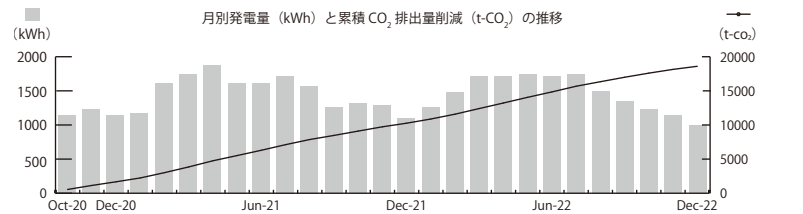
一品寄付 寄付者御芳名

【栃木県】磯恵子 角橋徹 近藤由実 杉田万由子 高村京子 高村寿子 武田誠 堀内紀江 マ・メゾン 光星久 保田隆行 【千葉県】香取みち子
 【東京都】小嶋達夫 小泉裕子 (一助) JELLA (カ) 聖心会みこころセンター ヒューネットアカデミー 【神奈川県】青木由希子 岩谷幸子 【大阪府】 (教) 希望ヶ丘教会

(医) 医療法人 (医社) 医療法人社団 (学) 学校法人 (カ) カトリック (株) 株式会社 (教) 日本基督教団 (キ) 日本キリスト教会 (公) 日本聖公会 (公財) 公益財団法人 (公社) 公益社団法人 (財) 財団法人 (社) 社団法人 (宗) 宗教法法人 (特活) 特定非営利活動法人 (パ同) 日本バプテスト同盟 (福) 日本福音ルーテル教会 (有) 有限会社

アジア学院太陽光発電レポート

期間	発電量 kWh	CO ₂ 排出削減量 kg-CO ₂	
2022/7/1~12/31	8,331	3,753	= 成木: 268 本分 石油: 1,891 ㍓分
累積 2020/10/1~	41,280	18,597	= 成木: 1,328 本分 石油: 9,371 ㍓分



事務局よりお知らせ

NEWS & SHOP INFO

にんじん大豊作！なんと3900キロを超える美味しいにんじんが採れました。いつもの年に比べて軽く2倍を超える収穫量です。2022年度の学生たちが中心となって丹精こめて作り上げました！



櫻井 将伸
フードライフ
(野菜・穀物)

「にんじんとにんじんジュースが豊作！」



アジア学院のにんじんジュースは2種類、すりおろしタイプのりんごミックス（瓶詰・450円/350ml）と、熱を加え甘いアロマたっぷりに仕上げた100%（冷凍パウチ・500円/300ml）。日々の健康づくりから病中・病後のお食事のお共に、にんじんが不得手な方にもおすすめです。

EVENT



“English Farm Camp” 参加者募集

毎年GWの恒例行事を今年は1泊2日で開催します！英語を使いながら楽しく「いのちと食べ物」に触れてみませんか？

5月27日(土)～28日(日) 13:30集合 15:30解散

宿泊先：那須セミナーハウス（アジア学院隣接）

参加費：一般15,000円、小・中学生10,000円、未就学児5,000円

申込期間：4/21～5/20

上記QRコード、ウェブサイトよりお申し込みください。



EVENT



第51回 入学式

4月15日(土)

2023年度は13ヶ国より27名の学生を迎える予定です。草の根のコミュニティの発展を目指して集う学生たちの無事の来日と学びを応援してください。学院ウェブサイトにてライブ配信を行います。

REPORT



支援金で購入した毛布が配布される村

ミャンマー募金 170万円超

2021年9月～2022年3月にかけて、紛争に巻き込まれたミャンマー人卒業生を支援する募金にご協力くださった皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

このたび、頂いた募金の全額の送金を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

送金総額：1,719,976円（振込手数料3,205円含む）

送金先卒業生数：6名（隣国に避難した卒業生を含む）

支援金は食料や物資の購入、住民への直接給付などに用いられています。

ミャンマーでは今なお紛争による過酷な状況が続いています。引き続き、心に留めていただければ幸いです。

EVENT



1年ぶりの開催！古本市

多くのサポーターの方からお問い合わせのあった大人気イベント・古本市を、1年ぶりに開催いたします！全国から寄贈されたベストセラーから文庫本、絵本、美術書などを販売します（100円～）。皆様のお越しをお待ちしております！

インドカレー&チャイ販売：

4/21、4/22、4/28、4/29（金、土）

マイ食器のご持参にご協力ください。

古本も募集中です！

4月21日(金)～29日(土)

※4/23(日)は閉店

OPEN 11:00～17:00

会場：那須セミナーハウス

那須塩原市槻沢420-22

(アジア学院隣接)

アジア学院創立50周年 「ヨベルの年」を祝う!

アジア学院理事長 山本俊正

アジア学院は今年、創立50周年を迎えます。アジア学院を創立した高見敏弘先生、土台を築き上げられた多くの先達の方々、その願いを受け継ぎ、今日までご尽力、ご支援いただいた関係者の皆様に深い敬意を表し、感謝する次第です。海外に住む卒業生共々、これまでの50年を皆様と共に喜び、祝いたいと思います。

旧約聖書には50年が「ヨベルの年」(Year of Jubilee)と呼ばれ、人々が様々な苦難から解放される年であったことが記されています。レビ記25章8節以下に次のような記述があります。「あなたは安息の年を7回、すなわち7年を7度数えなさい。7を7倍した年は49年である。その年の第7の月の10日の贖罪日に、雄羊の角笛を鳴り響かせる。あなたたちは国中に角笛を吹き鳴らして、この50年目の年を聖別し、全住民に解放の宣言をする。それが、ヨベルの年であ

る。」「ヨベル」とは、安息日の始まりと終わりを知らせるために吹き鳴らす「雄羊の角笛」のことです。ヨベルの年は農閑期で耕作地を休ませました。奴隷はすべて解放され、家族のもとに帰ることができました。借金のある人は、その借金が帳消しになりました。

現在、世界には80億に迫る人々が暮らしています。私たちは戦争、環境破壊、感染症、貧困、飢餓、人権侵害など様々な課題に直面しています。多くの人々が「ヨベルの年」を必要としています。アジア学院では次の50年に向けて、「土からの平和」、「フードライフ」、「気候正義と気候変動対策」、「教育」、「組織」の5つの分野からのビジョンを掲げています。「ヨベルの年」を起点として「共に学ぼう、農村の未来のために」をテーマに働きを進めていきます。アジア学院の新たな歩みへのご協力をご支援を引き続きお願いいたします。



50周年記念募金開始!

目標金額 **2000万円**

数々の50周年事業がスタートしています。

これからの50年の歩みに、皆様もぜひご参加ください!

01 3月16日!

**キックオフ
50周年
特設サイト開設**

02 9月16日(土)

50周年記念式典
創立記念日に実施

03 4月~6月

**オンライン同窓会
全6回**
卒業生の今を知る!

04

書籍出版
『アジア学院の「知」を
求めて』
荒川 朋子 著
(発行ヨベル)
アジア学院英語俳句絵本
『Food for All Our
Tomorrows
明日もみんな
「いただきます」』
Joyce Ray 作

05

映像制作
アメリカ Goshen
College と共同制作

詳細は50周年特設サイトをご覧ください。
(3月16日公開)

06 進行中!

**教室の電力自給の
見える化**
ソーラー発電・蓄電・
使用を1つの場所で
見えるように

07 進行中!

**LED電灯を
全建物に導入**

お振込先
(50周年特設口座)
足利銀行西那須野支店(支店番号183)
口座番号:2962221
学校法人 アジア学院

08 2022年~長期プロジェクト!

Whole Campus Approach
ホール・キャンパス・アプローチ

**「共に学ぼう、
農村の未来のために」**

「土からの平和」、「フードライフ」、「気候正義と気候変動対策」、「教育」、「組織」の5つの分野に焦点を置きながらアジア学院独自の教育プログラムを開発し、必要な環境を整備し、学びのコミュニティを地域と世界に広がっていきます。